

患者さまへ

「心肺蘇生法における適切な胸骨圧迫位置の特定に関わる研究 乳頭間線は胸骨圧迫位置の目安であり得るか」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開することが必要とされています。

1 研究の対象	2024年4月1日～2026年3月31日の期間に当院及び既存情報提供機関(5項参照)にて胸部CT画像を撮影した患者さま。
2 研究目的・方法	<p>心肺蘇生法を行う際に着衣の状態の傷病者において、市民が胸骨圧迫の位置を即座にかつ正確に特定することは困難です。そのため、市民が迷うことなく胸骨圧迫位置を特定する簡便な方法の開発は、質の高い胸骨圧迫を実施する要として強く望まれています。</p> <p>本研究では、仮説「仰臥位で位置が移動した乳頭間線(左右の乳頭を結ぶ線)であっても胸骨圧迫位置の適切な指標である」ことを診療録の胸部CT画像より計測することにより検証します。</p> <p>研究の期間:施設院長許可(2026年5月予定)後～2028年3月末</p>
3 情報の利用拒否	<p>情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「7. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。</p>
4 研究に用いる情報の種類	情報:性別、年齢、身長、体重、BMI(体格指数)、胸部CT画像等
5 研究実施体制	<p>[情報の提供を受ける機関]</p> <p>吹田徳洲会病院・集中治療センター 丸川 征四郎</p> <p>[情報を提供する機関]</p> <p>健和会大手町病院・救急科 畑中 哲生</p> <p>日本赤十字愛知医療センター名古屋第一病院・救急部 金子 洋</p> <p>おひさまクリニック西宮 長瀬 亜岐</p> <p>朝日大学・保健医療学部救急救命学科 名知 ひかる</p> <p>[外部への情報の提供]</p> <p>提供を行なう機関の長: 健和会大手町病院:https://otemachi.kenwakai.gr.jp/</p> <p>日本赤十字愛知医療センター名古屋第一病院:https://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/</p> <p>おひさまクリニック西宮:https://nishinomiya-med.or.jp/</p>

	<p>朝日大学: https://www.asahi-u.ac.jp/</p> <p>データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。コード番号一覧表は、提供する機関の個人情報管理者が保管・管理します。</p>
6 個人情報の取扱い	<p>収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。</p>
7 お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先 研究責任者: 丸川 征四郎 吹田徳洲会病院 集中治療センター・顧問 大阪府吹田市千里丘西21番1号 連絡先:06-6878-1110</p>

2026年 5月 29日作成(第 1.1 版)